

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

非常に「ブラタモリ」の番組については、非常に前向きに、そして糸魚川を非常に大きく捉えていただきました。私といたしましても、非常にこの糸魚川、そしてこの自然に対して誇らしく感じた次第でございます。このことは、本当にどこに行ってもしばらくは皆さんに伝えて、そしてまた、もしできたらビデオでも見ていただきたいというような気持ちでございます。

より我々はまだまだ、情報発信が足りないところが数多くあるかと思っておりますので、この「ブラタモリ」の番組をきっかけに、さらに大きく情報発信をしていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原 実議員。

○18番（田原 実君）

タモリさんが、根知すごいなと2回も言ったんですね。根知の皆さん、そして、米田市長のお喜び、ひとしおのものと拝察します。

これで一般質問を終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、田原 実議員の質問が終わりました。

ここで、暫時休憩をいたします。

再開を11時15分といたします。

〈午前11時07分 休憩〉

〈午前11時15分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

近藤新二議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。〔16番 近藤新二君登壇〕

○16番（近藤新二君）

おはようございます。創生クラブの近藤新二です。

事前に提出した通告書に基づき、1回目の質問をさせていただきます。

1、公園の整備について。

2019年に作成された「糸魚川市公共施設等総合管理指針」個別計画の公園においては、整備に関する基本的な考えとして、「公園施設の機能保全に支障となる劣化や損傷を未然に防止するため、公園施設の日常的な維持保全（清掃・保守・修繕など）に加え、日常点検、定期点検結果の活

用や、定期的な健全度調査を行うとともに、施設ごとに必要とされる計画的な補修、更新を行う。また、劣化や損傷、異常、故障が確認され、求められる機能が確保できないと判断された時点で、撤去・更新を検討し、対応する。」と示されています。

市が管理する公園について、以下を伺います。

- (1) 遊具やベンチ等の安全点検について。
- (2) 樹木等の剪定や伐採について。
- (3) 草刈りの実施時期と回数について。
- (4) みなと公園と夕日ヶ丘公園の管理状況について。

2、通学路の安全確保について。

文部科学省通知「通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取組の推進について」に基づき、通学路の合同点検及び安全対策など、児童等の安全確保に向けた取組を計画的・継続的に実施するため、糸魚川市通学路交通安全プログラムを策定し、学校関係者、道路管理者、交通安全関係者など、関係機関との連携を図り、通学路の安全確保の取組をされていますが、以下の項目について伺います。

- (1) 側溝にバリケードや蓋がない通学路について。
- (2) 電信柱の配電盤に頭部を衝突しそうな通学路について。

3、心の病気について。

糸魚川市はこれまでの「こころの健康づくり」から、自殺対策を強化し、誰も自殺に追い込まれることのない糸魚川市を目指す「糸魚川市自殺対策計画」を策定しました。

心の病気にも様々な種類があり、鬱病、統合失調症、パニック障害、強迫性障害、アルコール依存症、発達障害など、同じ病名であっても人によって症状は異なります。

また、近年では、ギャンブル依存症や未成年による薬物使用も増加傾向にあると報じられていますが、以下の項目について伺います。

- (1) 過去5年間の相談件数と自殺者の推移について。
- (2) 糸魚川市自殺死亡率（人口10万人当たり）の目標14.5（令和元年から5年まで）について。
- (3) 課題と今後の取組について。
- (4) 市内住居者（成人以上）全員のストレスチェック実施について。

4、除雪について。

冬を迎え、降雪量が気になる頃ですが、長期予報は今年も大雪が予想されており、2年続きの大雪を心配する声が多く聞かれます。

昨年度の教訓を踏まえ、以下の項目について伺います。

- (1) 不具合が生じた消雪パイプの対策状況について。
- (2) 住宅地における除雪した雪の置場について。
- (3) 融雪用に農業用水を活用することについて。

以上のことを第1回、質問させていただきます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

近藤議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目につきましては、年 1 回の法定点検を実施し、事故等の未然防止に努めております。

2 点目と 3 点目につきましては、事業者や地区に委託し、公園ごとの実情に合わせ、年数回実施いたしております。

4 点目につきましては、両公園とも姫川港の臨海地区に県が整備した公園であり、日常的な維持管理業務は、市が受託いたしております。

2 番目につきましては、学校が防犯パトロール員等からの協力を得て、危険箇所の把握に努めております。本年度は、9月に道路管理者及び警察と合同点検を実施し、77か所の危険箇所について情報共有を図るとともに、優先順位をつけて対策を行い、安全確保に努めております。

3 番目の 1 点目につきましては、心の病に関する市への相談は、令和 2 年度が 1,284 件で、増加傾向にあります。

また、自殺者数は、年間 6 人から 16 人の間で推移いたしております。

2 点目につきましては、県の目標値と同じく 20% 減少を目指し、14.5 といたしております。

3 点目につきましては、早期に適切な相談・治療につなげることが課題であり、相談窓口の周知に取り組んでまいります。

4 点目につきましては、市内事業所や市で行う高齢者事業において、ストレスチェックを行っております。

4 番目の 1 点目につきましては、修繕等で対応いたしております。

2 点目につきましては、道路の幅取り除雪の際に排雪を行うなど、雪置場の確保に努めております。

3 点目につきましては、用水の水量確保や用水路の構造が対応できるかなど、慎重な検討が必要と考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16 番（近藤新二君）

1 の公園の整備、（1）遊具やベンチ等の安全点検について伺います。

都市公園をはじめとする広場は、子供からお年寄りまで幅広い年齢層による自然と触れ合い、レクリエーション活動、健康運動、文化活動等、多様な活動の拠点であり、都市計画の改善や都市防災面の向上に寄与しています。このようなことから、公園等の広場は、快適で豊かなまちづくりには、必要なスペースであると、糸魚川市公共施設等総合管理指針に示されています。

そのような中で、公園の安全点検は、主に委託された業者が年に 1 度と先ほどお聞きしましたが、市に報告された内容を精査し、市は報告された内容を、現地へ行き、直接見て、確認されているか、

伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

齊藤建設課長。〔建設課長 齊藤 浩君登壇〕

○建設課長（齊藤 浩君）

おはようございます。よろしくお願いいたします。

遊具の安全点検につきましては、資格を持った点検業者から、年1回、点検を行っていただいております。

評価の方法ではありますが、AからDの4段階で評価します。Aは健全、B・Cは何らかの異常あり、Dは危険で、AからDに行くほど評価が悪くなり、D評価については、業者から点検時に連絡をいただき、即使用禁止措置を取っています。業者の点検結果を基に、職員が現地確認するとともに、点検業者の意見を聞きながら、次回以降の更新計画の優先順位づけをしているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

園児や小学生が来るような公園では、大人では見落としそうなちょっとしたささくれ、また、バリ等でけがをするような危険が潜んでいます。特にベンチが、今新素材の樹脂のベンチになってるんですが、凍結により、ひびが入り、それが春先になってささくれた状態が見られます。そのような状態を放置していることがないよう、また、委託業者からの報告だけでなく、地域からの声もしっかりと受け止めるような仕組みが、今後できるか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

齊藤建設課長。〔建設課長 齊藤 浩君登壇〕

○建設課長（齊藤 浩君）

業者が点検の後、職員も見にいくわけですが、これで完璧だとは思っておりません。大人と子供さんの目線も違いますし、いつも遊具を利用していただいている方の声が一番だと思っております。

また、公園によっては地区に管理をお願いしている公園もございますので、区長さんとも連絡を取りながら対応してまいりたいと思います。今現在、不具合などがあれば、直接市民の方から電話を頂いておりますが、電話だけでも大変ありがたいんですが、電話するのちょっとしたという方のために、道路損傷通報アプリというやつを先月立ち上げたんですが、今後、公園版というものも検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

地域の大切な拠点として、しっかり公園を維持管理していくよう要望します。

(2) の樹木等の剪定や伐採について、伺います。

公園、児童公園等は、昭和40年代頃から徐々に増加しました。当時の公園等の設備については、公園設置が主な目的とすることが多かったと言われていました。

現在の公園の樹木は、大きくなり過ぎて、道路にせり出したり、電線に接触しそうな木があり、高所作業車を使用して、芯を止めないといけないなど、地域では大変困ってる現状を、市はどのように考えてるか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

齊藤建設課長。〔建設課長 齊藤 浩君登壇〕

○建設課長（齊藤 浩君）

樹木が大きくなり、道路にせり出すなど支障が生じている樹木については、順次、剪定や伐採を行っているところです。

しかしながら、全ての公園の樹木の生育状況等を常時確認することは困難であるため、利用者や地域の方からご連絡も頂く中で対応をさせていただいております。支障となる樹木等がある場合には、当課にお問合せいただき、現地を確認した上で対応を検討させていただきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

地域住民の公園として、手の届く枝等は剪定し、焼却場へ運ぶなど、環境活動の一環として地域に協力するなどのお考えはあるかどうか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

齊藤建設課長。〔建設課長 齊藤 浩君登壇〕

○建設課長（齊藤 浩君）

担当課や委託業者だけでは、常時、樹木等の剪定を行い、常に整備された環境を維持していくことは困難であると考えております。お話しいただきましたように、地域の環境活動の一環として、公園につきましてもご協力いただける場合には、ぜひともお願いしたいと考えていますので、地域での会議等、機会がある際にお話しさせていただければというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

官民相互での公園をよりよい施設に管理していけるような仕組みを、行政のほうでよろしく願いたいと思います。

(3) の草刈りの実施時期と回数について伺います。

糸魚川市の都市公園14か所、それと美山公園について、草刈り等の業務を随意契約していますが、実施時期と回数について、どのような契約内容になっているか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

草刈りにつきましては、実施時期はおおむね5月、7月、9月とし、公園の規模等に応じて、年2回から3回程度としております。

以上です。

失礼しました。契約についてでございますが、いろいろな事情により、人手が不足してきたことから、当初、予定どおりに作業が進んでいない委託業者から報告を受けており、把握しております。最終的には、できなかった作業分については、当然ながら減額とする変更契約を行いますが、当初の作業計画に沿うよう最大限作業を行うよう、委託業者にはお願いしているところでございます。

今後、予定どおりに作業ができない状況等であれば、委託先の変更など、検討していきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

市民から、かなり公園等が草刈り遅れてるよというのが、私の耳にもよく聞かれます。現状を踏まえ、今後、課長がおっしゃったように随意契約者との見直しが必要と考えますが、この公園については、各部、また各課にそれぞれ場所等が違いまして、随意契約者が同一なものが多いと思われます。これはやっぱり行政側のほうで、ひとつまとめていただて、どのようにこの草刈り、また、維持管理というところを持っていくのか、協議をお願いしたいと思います。

次に、（4）のみなど公園と夕日ヶ丘公園の管理状況について伺います。

姫川港は、昭和40年から本格的に整備に着手し、昭和48年9月に県知事によって、開港が宣言されました。推定埋蔵量50億トンと言われる石灰が産出されることから、これを利用した化学工業、セメント産業とともに姫川港も発展し、貨物量や船舶大型化に対応するために港湾整備を強化してきました。また、平成15年には、循環資源を積極的に取り扱ってきたことが評価され、国土交通省から県内唯一のリサイクルポートに指定されました。西ふ頭3号岸壁は、今年の3月に完成し、8月2日に昨年度、熊本で豪雨災害に見舞われた災害廃棄物を受入れ、被災地の復興に貢献しています。

このような重要な姫川港に、騒音・粉じんの公害対策と防風林を兼ね備えたみなど公園と夕日ヶ丘公園があるわけですが、公園の管理は、先ほど市長からの答弁で、新潟県から糸魚川市へ委託されたと聞いていますが、今の現状について伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

市長が答弁しましたとおり、県と市において、維持管理に関する覚書を交わしております。街路灯やトイレ等の光熱水費ですとか公園の草刈りなど、通常の維持管理に係る部分につきましては、市が負担しております、臨時的な改良ですとか補修等に要する費用につきましては、両方で協議をすることとなっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

寺島区港湾対策委員会のご意見や要望の中で、樹木の枝葉が道路まで伸び、民家の屋根に落ち葉が積もり、雨どいに詰まり、水漏れする。土盛り箇所が植栽が道路まで伸び、車の路線や視界を妨げている。松の枝が伸び、除雪車両に障害が生じる。公園内の草刈りができていない等のご意見が出されています。管理を委託されている市は、どのようにお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

市におきましては、草刈りにつきましては年3回、樹木の剪定につきましては年1回実施している状況であります。

ご指摘のように、樹木・植栽が大きくなりまして支障が出ている箇所がございます。これにつきましては、県に伐採をお願いしているところであります。

いずれにいたしましても、姫川港の重要性についてご理解をいただき、また、港湾事業の推進に多大なご協力をいただいている地元の皆様に喜ばれる公園になりますように、県と市で連携して、維持管理に努めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

先ほどの公園のほうでも言ったんですが、樹木がかなり大きくなって、芯を止めないといけないような樹木がたくさんあります。

また、あそこの防風林、また公害対策として、高さがどの程度なのかというところが、地元の方たちによく理解されていないと思うんですね。樹木がどの程度の高さまでなって、公害対策と防風林の役目をしている。それ以上になると切ってもいいよというような、何か一定の決まり事があるのか、その辺も調べていただきたいなと思います。

姫川港が存在する寺島区には、いろんな意味でご苦勞をおかけしている部分もあることから、港湾施設の一部である公園について、市はご意見や要望に対して誠心誠意接していただくよう要望します。

2番の通学路の安全確保について。(1)側溝にバリケードや蓋がない通学路について伺います。全国的に通学路の側溝に落ち、けがをしたといわれる事故が絶えませんが、糸魚川市において、過去にそのような事例があったか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長(松尾徹郎君)

富永こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 富永浩文君登壇〕

○教育委員会こども教育課長(富永浩文君)

お答えいたします。

登下校中に側溝に落ちて、けがをしたというふうなことについては、あると認識しております。ここ3年ほどで登下校中に側溝を踏み外したり、あるいは落ちて、けがをしてしまったという件数については、6件報告されています。いずれも大きなけがとはなっておりませんが、注意喚起をしながら再発防止をお願いしているところであります。

また、道路管理者のほうに要望、協議しながら、危険度の高いところについては、対応を行っているところであります。

以上であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長(松尾徹郎君)

近藤議員。

○16番(近藤新二君)

先ほど市長からも、見回り箇所では77か所ということだったんですが、小学校区ごとに通学路安全マップを作成されていると思いますが、側溝の蓋がない場所や用水のバリケードがない場所は、マップに記載されてるかどうか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長(松尾徹郎君)

富永こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 富永浩文君登壇〕

○教育委員会こども教育課長(富永浩文君)

お答えいたします。

側溝の蓋がなかったり、歩く幅が狭くて、通りにくい場所、それから、流れる水量が多い用水などの危険と思われる場所につきましては、マップのほうに記載されております。小学校のほうでは、毎年、通学路について、児童、保護者、学校職員等で確認する場を設けておりますし、実際にそこを歩いて確認している学校もあると聞いております。そんな形で情報共有しながら、未然防止に努めているということでもあります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長(松尾徹郎君)

近藤議員。

○16番(近藤新二君)

危険と思われる場所は、子供たちに注意喚起だけでなく、改善を進めるよう要望します。

(2) 電信柱の配電盤に頭部を衝突しそうな通学路があるかについて伺います。

横町2丁目の中央通りから中央保育園へ曲がる角にある電信柱の配電盤について、工事の発注がされ、配電盤をかさ上げしていただきありがとうございます。

あの場所は、過去に小学生が頭をぶつけたところをたまたま通りがかった大人が見て、横町区に報告された経緯がありました。毎年、小学校区ごとに通学路の安全点検を行っているとありますが、過去に電信柱の配電盤等の指摘があったか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

富永こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 富永浩文君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（富永浩文君）

お答えいたします。

過去に電信柱の柱の設置位置について危険な状況を把握したということはありませんが、配電盤等に対する指摘については、ここ最近では把握しておりません。議員のおっしゃること、確かにもっともだと思いますので、子供目線で、学校のほうで安全点検、危険箇所の確認等を行ってもらえるように今後指示して、子供たちの安全を守るという取組を続けていきたいというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

大人の目線では見えない危険箇所が、子供たちにとっては危険となり得る場所があると思います。このような事例を踏まえ、安全点検を行い、危険箇所を減らすよう要望します。

3の心の病気について。（1）過去5年間の相談件数と自殺者の推移について伺います。

糸魚川市自殺対策計画の概要版に掲載されている心の悩みの電話相談する場所が5か所ありますが、糸魚川市が把握している件数と、糸魚川市こころの総合ケアセンターに受診、または相談された件数が、分かる範囲でお聞かせくださいということで、市長の1,284件というのが、この数字に当たるかどうかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

市への相談については、今ほど近藤議員のお話のあったとおり1,284件であります。そのうち、市の健康増進課の保健係への相談については70件であります。そのほか5か所、相談窓口の紹介をしておるんですけども、そこについても若干紹介させていただきますと、上越、いのちとこころの支援センター、これが2件、糸魚川地域振興局、これは令和元年度の実績になりますが、231件ということでありまして。その他については、把握しておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

相談件数と自殺者の因果関係があると思われませんが、平成30年の自殺者数が16人と飛び抜けて多いですが、どのような原因があると考えられますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今ほどありましたように、平成30年の自殺者数というのは、過去5年間で一番多い数字になっております。16名であります。そのうち、はっきりしているのが、健康問題に関する方がお一人、その他は原因は明らかになっておりません。恐らくいろんな原因が複雑に絡まったの自殺に至ったということでないかというふうに考えております。

ただ、1つ特徴的なことを申し上げますと、80歳以上の高齢者が7名、それから30歳から40歳の若年者の方が4名ということ、それから精神疾患で治療中の方が多かったということが分かっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

（2）の糸魚川市自殺死亡率（人口10万人当たり）の目標が14.5、これは新潟県に倣った8割の数字と聞いていますが、これたしか全国平均では7割というふうに聞き及んでますが、なぜ新潟県の8割取って、全国平均の7割を取らなかったか、その辺お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

平成30年12月、策定しました計画では、令和5年の自殺死亡率の目標を設定するに当たって、過去5年間の自殺死亡率18.1、これは県と同様に20%削減する目標にしております。近藤議員の提言は、それは国は30%掲げているじゃないかということですが、国の目標値が、これたしか令和8年の目標値になっております。今、私のほうで説明させていただいたのは、県は令和5年、国は令和8年であります。3年の差があります。その3年の差が10%に現れるわけですが、もちろん令和8年には、この30%削減に向けて、市も取り組んでいきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

（3）の課題と今後の取組について伺います。

糸魚川市自殺対策計画の中で、3つの課題が取り上げられています。

1つ目は、自身と周りの人の体の不調や憂鬱症状に早く気づき、適正な治療・支援につなげること。2つ目は、事業所におけるメンタルヘルス対策など、若年層への自殺対策の充実が必要。3つ目は、高齢者や生活の不便や介護の問題、孤独感などで、多くの自殺リスクを抱えています。家庭や地域で幅広く支援の継続が必要と言われてますが、今後の取組について伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

心の病につきましては、気づいていても相談でありますとか精神科医療につながらない実態というのがあります。自殺を防いでいくためには、相談窓口の周知、これは当然であります、心の健康問題への理解を促しながら、当事者だけでなく、悩んでいる人に気づいて、支援につなげられる、そんな体制の充実さらに取り組みたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

鬱病は、薬で治る病気と知らない人が多いと考えられます。心の病気は、まず悩まずに相談、今、課長がおっしゃったとおりだと思います。

また、それを周知する活動や、また、アルコール依存症やギャンブル依存症についても、家庭崩壊の原因と懸念されることから、行政が積極的に取り組むことを要望します。

（4）市内住居者（成人以上）全員のストレスチェック実施について伺います。

事業所では、年に一度のストレスチェック制度が、労働安全衛生法第66条の10で定められています。事業所にお勤めされている方へのストレスチェックを、市民に行う考えはあるか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

自身のストレス状態に気づいて、自身でセルフケアだとか相談につなげていく。そのためには、今話のあったストレスチェックというのは必要だというふうに考えております。市民全体というのは、ちょっと難しいというふうに考えておりますけども、地域での出前講座の場などを活用しながら、健康問題の啓発と併せて、できることからストレスチェックについて行ってみたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

未就職の方、また、お年寄りの方たちにストレスチェックをして、自分の状態を把握する等、市のホームページでストレスチェックができるよう、結果が分かるようなサイトを作成するよう要望

します。

4の除雪についてです。(1)不具合が生じた消雪パイプの対策状況について伺います。

昨年度の大雪において、市へ除雪関係の苦情や要望が1,524件と3月議会の一般質問の中で報告されましたが、その1,524件の中で、消雪パイプに関しての水が出ない、水量が少ない、赤さびの水が出る等のご意見もあったと聞いておりますが、この冬に向け、どのような対策を取られたのか、具体的に伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長(松尾徹郎君)

齊藤建設課長。〔建設課長 齊藤 浩君登壇〕

○建設課長(齊藤 浩君)

消雪パイプにつきましては、降雪前に配管内の排泥作業を行い、散水ノズルの目詰まりの解消や散水量の調整、配管の漏水調査等を実施しております。

また、昨冬の状況から、散水量の減少が見られる消雪パイプについて、消雪用井戸内に水中カメラを挿入し、内部点検を行うとともに簡易揚水試験等を実施し、水量の調査を行っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長(松尾徹郎君)

近藤議員。

○16番(近藤新二君)

上越市内の中心部の消雪パイプでは、地盤沈下防止のため、効率的な集中管理を行い、節水をしています。このため、場所によって降雪に合わせて水が出ない場合もあります。これはエリアごとに一斉に水を出すため、一時的に節水しているものでもあり、ある程度、道路に雪が積もれば、水が出るということを市民に周知し、お願いしています。糸魚川市は、そのような地盤沈下のおそれがある地域や、また、高速道路や新幹線工事等で、地下水源が以前と変化した井戸があるかどうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長(松尾徹郎君)

齊藤建設課長。〔建設課長 齊藤 浩君登壇〕

○建設課長(齊藤 浩君)

糸魚川市内における地盤については、消雪用井戸の掘削時における土質を確認しますと、礫質土層であるとともに、現時点では、市内の地盤沈下等は確認されていないため、そのような地域はないと考えております。

また、高速道路や新幹線の工事等で、井戸の移転補償で動かしたものはありますが、地下水脈が変化したというものはないというふうに認識しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長(松尾徹郎君)

近藤議員。

○16番(近藤新二君)

消雪パイプは、造っておしまいの施設ではありません。継続的なメンテナンスが欠かせない施設の代表でもあります。埋設されたパイプは、年数が経過しており、当時は鉄管のため、かなりさびがついてる状況だと推測されます。計画的な改善をしっかりと予算立て、進めていただくよう要望します。

(2) 住宅地における除雪した雪の置場について伺います。

市内の住宅地では、水田や空き地に建物が建設され、雪の置場が徐々に少なくなり、地域では大きな問題となっています。除雪を請け負う建設会社にしても、地域住民のために早く除雪をしたいが、雪の置場は少なくなり、長い距離を運搬することから、時間も労力もかかると言われています。市は、住宅地の雪の置場について、どのようにお考えか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

市長答弁にもありましたとおり、通常のかき分け除雪から幅取り除雪、いわゆる排雪と申しましようか、に切り替えた際、併せて雪の置場の排雪も実施することにより、雪の置場の確保に努めていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

市は、朝7時ぐらいまでに道路の除雪をおおむね完了すると、令和3年道路除雪計画書を作成しました。近年、除雪を行うベテランの方が少なくなっており、経験が少ないオペレーターでは、遅いと言われております。

また、時間のかかる路線もあることから、今回のおしらせばんにおいて、住宅前の除雪や道路に雪を出さないなどの道路除雪作業にご協力くださいとの文面が掲載されていました。除雪量に応じて、再度メールや広報無線等でのご協力をお願いする考えがありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

降雪前に各地区で行いました地区の除雪会議においても、区長さんや役員さんをお願いしているところですが、議員おっしゃいますように、さらに市民の方からご理解をいただくために継続して周知してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

市民が一定のルールを知ることで、道路除雪に対しての啓蒙活動がお互いにされることだと思います。除雪した雪が通学路の妨げにならないよう、除雪業者がしっかり認識して作業していただけるよう要望します。

(3) 融雪用に農業用水を活用することについて伺います。

昨年度の大雪において、側溝の十字格子を外して大きな雪の塊を投げ入れた結果、下流域で雪が詰まる、あふれるといったトラブルがありました。中山間地では、側溝や川に雪を投入できることから、市街地においても農業用水が冬期間も流れている用水がありますが、水量が確保できていれば、市街地にも随時流すことは可能なのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島農林水産課長。〔農林水産課長 木島美和子君登壇〕

○農林水産課長（木島美和子君）

農業用水路は、流雪溝として整備されたものではありませんので、用水路の勾配が確保できるか、要は雪の塊を安全に海のほうまで流下できるかといった課題があるかと思います。

先日の「ブラタモリ」の中でも、タモリさんがおっしゃっていたように、当市は海に向かって高くなっているところがございます。下流域で雪が詰まって水があふれまして、住宅等に浸水した場合は、補償問題にもなりかねませんので、農業用水路への投雪というのは、控えていただくようお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

糸魚川市民によく理解できるよう、河川・側溝などへ雪を捨てることのできない平坦な地域では、雪が詰まり、支障を及ぼすおそれがあることから、河川・側溝などへ雪を捨てないよう、ご協力をお願いすることはできるでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

側溝内に雪を入れる、捨てる行為につきましては、先ほど農林水産課の木島課長からもありましたが、水量や構造が対応できなければ、あふれて浸水被害の原因となりますので、また、市ホームページや広報等で周知したいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

昨年度の教訓を生かし、除雪体制の充実を要望して、私の一般質問を終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、近藤議員の質問が終わりました。

関連質問なしと認め、ここで暫時休憩いたします。

再開を1時といたします。

〈午後0時03分 休憩〉

〈午後1時00分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、伊藤 麗議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

伊藤議員。〔6番 伊藤 麗君登壇〕

○6番（伊藤 麗君）

清新クラブ、伊藤 麗です。

事前に通告しております通告書に沿って、1回目の質問をさせていただきます。

1、市内の中学3年生が糸魚川市に望むことについて。

10月8日に市民総合体育館にて行われたキャリアフェスティバルいといがわ2021に議会もブースを出展し、参加議員の一人として私も参加させていただきました。その際、議会のブースに訪れてくれた市内の中学3年生の皆さんに「みんなが糸魚川市に望むこと」として、要望を付箋に書いてもらう取組をいたしました。

そのときに、頂いたご意見の中から、以下を伺います。

- (1) スターバックスコーヒーやマクドナルドなどのファーストフードチェーン店などを市営で行うお考えがあるか伺います。
- (2) デパート誘致や若い人にもお年寄りにも優しい複合施設をつくる計画や、お考えがあるか伺います。
- (3) 図書館と家以外の勉強できるスペースがあるかどうかと、現状の利用状況について伺います。
- (4) 情報機器の活用の促進により、ノートに板書を写すことに時間を割くよりも、理解に重きを置いた授業に転換していく意向や、可能性があるか伺います。

2、糸魚川市における指定管理者制度について。

指定管理者制度とは、公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度です。ここでいう公の施設とは、「みんなが使える施設」のことを指します。地方自治法244条で「住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供する施設」と規定されています。当市においては、現在44個の指定管理導入施設があります。44個の施設を確認いたしますと、そのほとんどが収